

学校だより

希望 共生 個性



かないずみ

令和6年2月5日 NO. 9 佐渡市立金泉小学校

学習することの楽しさ

校長 矢嶋 義宏

5年生の書写の時間に硬筆（えんぴつ書き）を行いました。平仮名や片仮名のプリントを何種類か用意をして、各自で書く学習を行いました。

授業が始まる前に、次のように子どもたちに投げかけました。

集中して書くことを楽しもう

集中して書くことを楽しめるように、「自分のペースで書くことを大切にする。だからプリントをすべて終わらせる必要はないこと」「疲れたら席を立って、友だちが書いている様子を見に行ってもよい。ただし、集中している友だちに話しかけないこと」を確認しました。

プリントが配付されると、子どもたちは静かに取り掛かりました。子どもたちの書くスピードはそれぞれです。全員が共通していたのは、お手本となる文字をよく見て書いているということでした。話す子はいません。鉛筆の心地良い音が教室に響いています。そんな時間が30分ほど続きました。

授業の最後に、その時間内に自分が書いたプリントを眺めることにしました。子どもたちは、満足そうに自分が書いた文字を振り返っていました。

子どもたちが学習に取り組んで「わかった」「できた」と思えた時、「**学習することの楽しさ**」を実感します。それは学んだことに対する達成感や自分自身の成長を感じることができるからです。これはとても重要なことです。しかし私は、学習するということにかかわって、その上で大事にしたいことがあります。それは、「わかった」「できた」ということにかかわらず、**学習するという行為そのものに対する楽しさを味わう**ということです。例えば、「(走ったタイムは速くなくても、) 走ったときに感じる風が爽快だから、走ることに楽しい。」「(結局、主人公の気持ちははっきり分からなかったけれど、) 物語の世界に入り込んで想像するとドキドキする。だから、物語を読むことが楽しい。」など、そんな楽しさがとても大切だと思うのです。この楽しさは、「学んだことが生活に役立つ」というよりも、「**学ぶことが自分の生活を豊かに、潤いのあるものにする**」ということに繋がると考えます。

5年生の硬筆の授業では、子どもたちがそんな「**学習することの楽しさ**」を感じていると思いました。「美しい文字になるように、没頭して書くことが楽しかった。」「筆圧を感じながら、鉛筆をリズムよく動かして、文字を書き上げていくことが楽しかった」などです。

このような子どもたちの姿をより多く具現するために、子どもたちが「**学習はやるべきもの**（もしくはやらなければいけないもの）」ではなく「**学習はやりたいもの**」と思うように、私たち職員が常に工夫を重ねていきたいと考えます。



2・3月の主な予定



【2月】

- 1日 (木) 校内なわとび大会、
全校5限後下校、
PTA役員会・改選全体会
- 2日 (金) 全校朝会、全校5限後下校
- 6日 (火) 新1年生体験入学・保護者説明会
全校5限後下校
- 8日 (木) スキー教室
- 9日 (金) 全校5限後下校
- 13日 (火) 委員会⑩、学校運営協議会
- 14日 (水) 諸費納入日、中学校入学説明会
- 16日 (金) 音楽朝会 (六送会の歌)
- 19日 (月) 家庭学習強調週間 (25日まで)
- 20日 (火) クラブ⑨
- 21日 (水) 六送会、PTA総会、学級懇談会
- 26日 (月) わくわく朝会③、全校計算テスト

- 27日 (火) 委員会⑦
- 29日 (木) 全校漢字テスト

【3月】

- 1日 (金) 音楽朝会
- 5日 (火) 委員会⑧
- 7日 (木) 地域子ども会
全校5限後集団下校
- 12日 (火) クラブ⑩
- 15日 (金) 卒業式予行練習
- 18日 (月) 全校4限後下校
- 19日 (火) 全校4限後下校
- 21日 (木) 終業式、卒業式準備 (4・5年)
- 22日 (金) 卒業式
- 25日 (月) 離任式・学年末休業開始

「一生懸命は美しい」

